

計に種々なる統計の示す所に依れば労働者の一般生活費は
服費を除いては東京は遠の大阪を凌駕するを見る。

然るに賃銀率の推移を以て東京市役業員に於ては十年間の如
何率の改善を加へられたい計りか怪しげな人文供給の
一と計りたゞ及ん人文を供給せしめて賃銀率の概なり計

をいふるの計あり
能つて今日の我々後業員組合の要求に就いて考へるに
亦一は平均に賃銀一割の増給(平均)である既程

後業員の標準賃銀の絶対額に就いて云ふは
局の仰しやと云ひ或は他の工場労働者に比して倍
著しく優るはあからうだが之は誠上巧妙な云へ

あつて事業工場労働者宗族を調べて見ると
彼等は大体に於て二重賃銀制度のお蔭で彼等の
に較べて宗族は遙に多い而かも二重賃銀より賃銀

倍なる揮取手扱ふりとして一般工場労働者
に比しては其の倍
倍は其の倍
倍は其の倍

後つて我々は二重賃銀制度によらず平均賃銀を一割増して貰ふたいと云ふに

過ぎないので決して不当のものではあるまい次に定期昇給の件であるが之も前
述の如く大阪及京都に比較して劣等であり特に一回の昇給が三割以下がサラにある

に至つては更に言語同断であり殊に甚だしきは其の自分鏡に叶はなぬは一年二年たつて
も一文も昇給しないものさへある之等の如きは其の経済生活の高い東京などにあつては是れは

痛手を侮辱するものであるとの受取れない又当分の休暇たる賜暇を共に置きて
らそれを賞典標準の中に入れては其の真意を解するに苦しむものである

四 雨中作業の四時間以上に亘る場合の賃銀一割増であるが元来雨中作業は若
く体力を消費するものでありまた甚だしく不衛生のものである種々の病氣が之
因つて起るのは監督の失負諸君も充分認める所である筈である

また特に撒水夫の如き天奈の日は二時間乃至三時間定時間外餘計に働かせ置
乍ら雨が降れば直ちに他の仕事に廻して働かせる事だ元来撒水夫の目的だけに在り